

- 今年度活動を振り返って
- 新年度役員会のスタート
- 能登半島地震への義援金の御礼
- 消化箱設置で、防火をさらに充実
- 今月と来月の予定

今年度活動を振り返って

退任のご挨拶 山本利昭

去年5月に会長に選任された時は、「役員・班長の負担軽減による若者への世代交代」をテーマに①納涼祭の外部委託を運用方法の改善、日限山独自の防災ガイドラインの作成、「若い世代への世代交代」に努力したいと考え、具体的には、①納涼祭の外部委託と運用方法の改善、②日限山独自の「防災ガイドライン」の作成、③会費集金での負担軽減に取り組もうと考えてきました。

しかし現実には、①の納涼祭自体が中止になってしまい、③の会費集金も前年度役員が頑張って実現してくれたために、結果的に②の防災ガイドラインだけになってしまいました。

ただ「防災意識」は、会員・役員の間で急速に高まりました。避難訓練の改善検討を通じて、「防災部」の新設の気運が高まり、4月の総会に提案する運びになりました。提案に当たっては、男女共同参画などの世代を越えて「健康」と「福祉」を考慮した組織改正を検討しました。

この数年間、新型コロナの流行を機にメールの普及、自治会ホームページの立ち上げ、LINEの普及促進等の活動が進み、電話に頼っていた自治会活動も完全にスマホの時代になり、定着するようになりました。

一方ここ数年間、新型コロナからの回復に向けて多くのご支援・ご協力を戴き、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

消火箱設置で、防火をさらに充実

去年一丁目の階段下に消火箱が設置されたのに続き、階段上にも消火箱が設置されました。

能登半島地震では、発災直後に多くの民家が火事に見舞われました。木造家屋の多い日本では、地震による火災発生に注意する必要があります。消防設備の整備が重要になります。



新年度役員会のスタート

令和6年度の日限山自治会の総会が4月7日に開催され、来年度の自治会新役員体制が選任・承認される予定です。そして新会長には、斎藤亮(4E)さんが選任される予定になっています。

斎藤さんは、日限山歩こうクラブの代表を始め、ひざり連合など日限山地域のボランティア活動に長く貢献されてきました。そして4月からは日限山自治会の令和6年度会長に選任される予定であり、納涼祭の開催に意欲を燃やしておられます。

納涼祭復活に向けた新会長のリーダーシップを期待したいと思います。

能登半島地震への義援金の御礼

今年の正月に発生しました令和6年能登半島地震、大きな災害が発生し私たちに多くの衝撃を与えました。自治会でも早速1月の役員会で10万円の寄付金を決定しました。

そしてひざり連合がまとめて、西洗自治会、日限地区社会福祉協議会と合わせて合計50万円にして、石川県令和6年能登半島地震災害義援金様宛に3月1日に送金しました。会員の皆様の暖かいご支援ありがとうございました。

今月と来月の予定

- 総会：4月7日(日)10:00～
- 令和6年度の活動開始
第1回部長会 13日(第2週)、
第1回役員会 17日(第3週)
- 納涼祭実行委員会発足

発行責任者：山本利昭

HP：<https://higiriyama.org>

ご意見：info@higiriyama.org

